

2020/12/19 地元♡Love：The Long And Winding Roadの旅

CL:F木た、SL:F木、SL:O山内、S田、N沼、S藤、K藤、U佐美、T谷、M永、T川、O田

天候:曇り時々陽ざしのち寒風、気温-2～9℃、距離10.4Km、所要6時間38分、獲得標高486m

日本列島を今季最強寒波が襲い関越道で大量の車の立ち往生が報道される中、地元の穴場を訪ねた。



9:00 コゲラ・シマエナガに見送られてトレッキング開始。積雪15-25cmスノーシュー動物の足跡多数、タヌキかな。ヒトの形跡は皆無。この時期ここを訪ねるモノ好きは、我々位のものだろう。電波塔への道筋にはご丁寧に100m毎に立派な標識あり。総延長2274m、遠いなあ。途中鹿のパーティーと遭遇。白いお尻を見せて軽やかに走り去っていった。



10:42 上登別山到着、立派なアンテナが3基S田・O山内両氏、雪に埋もれた三角点を掘り出す。再び林道に戻り目指す南山の裾を巻いて北進、橋湖への分岐で立ち飯。ここからの本日の核心、いざ南山へ。標高差80mを登り切り橋湖を見下ろしたところで南東の稜線へ。距離500mほどだが、難儀する。

上登別山までは平坦な舗装路をゆるゆると進む。山頂で一息、シルバーの電波塔が一層寒々しい。次なる山を目指して下山。半分降りてヘアピンカーブから藪に突入！ただの林道歩きじゃ物足りない、変(?)な人々入ってみたらそこは一面倒木アスレチック。乗り越えるかくぐるか、笹に足を取られ転倒多数。でもこれが楽しいのだ(やはり変な人)藪と格闘20分、林道に出てほっとする。



巨木を乗り越えるK藤氏、M永・F木た女史

湖面へと滑り落ちる斜面をトラバース。地面は凍り付いている。来馬おろし湖面を渡る北西風に叩きのめされる。シベリア直送、本場本物の寒気にさらされ、体感温度は -20°C 。20分かけて南山山頂へとうちゃこ13:47。ここでF木晴氏、ザックより何やら大事そうに取り出す。そこにはくっきりと浮かび上がる「南山」の2文字が。



ランチタイム、ソーシャルディスタンス守ってます



山頂標識(F木た女史作)設置中



南山山頂にて、背後は急斜面と橘湖。来馬おろし直撃



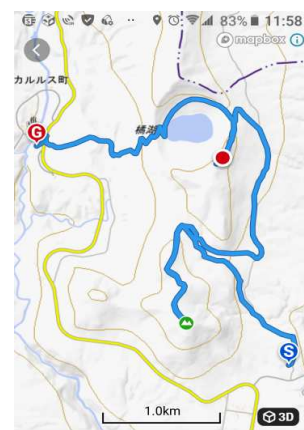
湖面は凍り付きアイスグレー、粉雪が風になって湖面を渡る



カルルス温泉へ向けて湖畔を半周して帰路につく



標識の下で最初の記念撮影



○印が標識設置場所です

14:39, カルルスバス停着。アンテナと藪と標識と湖と、変化があつてあつという間でした。が、寒かった～～。次は穏やかな日にあの山頂標識に会いに行きましょう。リーダー各位参加の皆様にご感謝。 O田記